



第54期の終了と第55期の始まり

2022年も残すところ12月の1ヶ月のみとなりました。11月は朝晩の冷え込みは日に日に増してまいりましたが、日中は比較的過ごしやすい気温となりました。12月に入り一段と気温が下がり、寒さが厳しくなっていくと思います。体調管理には十分気を付けていただき、年越しをお迎え頂けたらと思います。

弊社の第54期は11月で終了となりました。1年間ありがとうございました。年度計画に対しては売上計画未達となってしまいましたが、第53期にコロナ禍の影響で落ち込んだ売上は回復することができました。これもお客様をはじめ、仕入れ先様や社員の皆様のご協力による結果であると感じております。心より感謝いたします。ありがとうございました。また収益の方も黒字の数字を確保することができたため、こちらも第55期に繋がる結果となりました。ただ年度で立てた計画はまた未達の結果であったことから、第55期は是非計画達成を成し遂げ、さらなる成長を築いて行きたいと感じております。計画達成に向けて引き続きのご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

年の瀬が近づくとつれ、新型コロナの感染も拡大傾向になりつつありますが、インフルエンザも含めて感染予防を行いながらお身体の方を整えて頂きたいと思います。それでは1ヶ月間どうぞよろしくお願い申し上げます。

社長 太田 聡
編集担当：島

ハラスメントについて（第5回） 【妊娠・出産等に関するハラスメント】

今回は妊娠・出産等に関するハラスメントについて、詳しく説明していきます。
※「職場でのハラスメントの防止に向けて」（厚生労働省）をもとに作成



【妊娠・出産等に関するハラスメントとは】

職場（通常作業している場所の他、出張先、参加が強制されている宴会等も含む）において行われる上司・同僚からの言動（妊娠・出産したこと、育児休業等の利用に関する言動）により、妊娠・出産した女性従業員（正社員だけでなく、パートタイム従業員、契約社員、派遣労働者含む）や育児休業等を申出・取得した男女従業員の就業環境が害されることです。

【妊娠・出産等に関するハラスメントの例】

- ・上司に妊娠を報告したところ、「**次回の契約更新はない**」と言われた。
 - ・産休の取得について相談したところ、「**他の人を雇うので辞めて欲しい**」と言われた。
 - ・育児休業の取得について相談したところ、「**男のくせに育児休業をとるのか**」と言われた。
 - ・妊婦健診のために休暇を申出たところ「**病院は休みに行くものだ**」言われた。
 - ・「**妊婦はいつ休むかわからないから、仕事は任せられない**」と雑用ばかりさせられた。
 - ・同僚から、「**こんな忙しい時期に妊娠するなんて信じられない**」と繰り返し言われる。
- これら言動はすべてハラスメントに該当します。

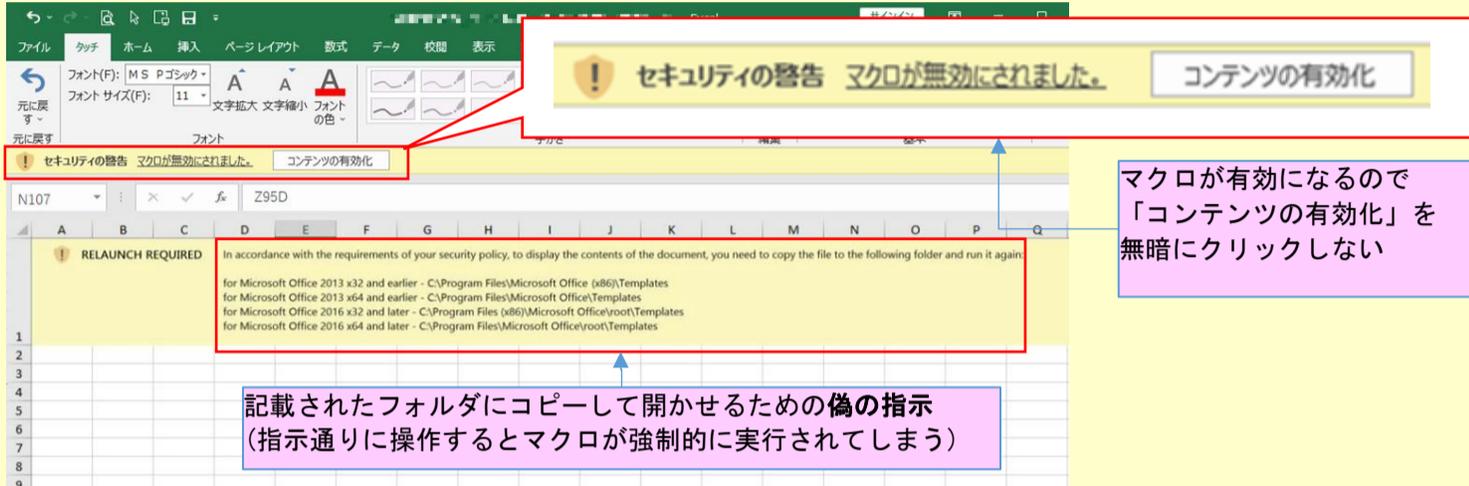


Emotetが日本での活動を再開

Emotetは、情報の窃取に加え、更に他のウイルスへの感染のために悪用されるウイルスであり、悪意のある者によって、不正なメール（攻撃メール）に添付される等して、感染の拡大が試みられています。

Emotetへの感染を狙う攻撃メールの中には、正規のメールへの返信を装う手口が使われている場合があります。これは、攻撃対象者（攻撃メールの受信者）が過去にメールのやり取りをしたことのある、実在の相手の氏名、メールアドレス、メールの内容等の一部が流用された、あたかもその相手からの返信メールであるかのように見える攻撃メールです。一見すると業務に関係がありそうな内容で、取引先や知り合いから送付されているように見える添付ファイルであっても、Emotetの感染に繋がるメールや添付ファイルである可能性があります。信頼できるものと判断できない限りは添付ファイルやリンクは開かず、確実な手段で送信元へ確認するといった対応を行ってください。

IPA(独立行政法人情報処理推進機構)によると、2022年7月頃よりEmotetの攻撃メールの配信が観測されない状態が続いていましたが、2022年11月から再開されたことを観測しているようです。攻撃の手口はこれまでと大きくは変わっていませんが、攻撃メールに添付されたExcelファイル内に書かれている偽の指示が、特定のフォルダにExcelファイルをコピーして開かせるように促す内容に変化しています。



▲Emotetの攻撃メールに添付されているExcelファイルの例

メールが安全であると判断できるまでは、以下の点にご注意ください。

- ・添付されたWordや Excel の「コンテンツの有効化」、「編集を有効にする」をすぐにクリックしない(マクロを実行しない)
- ・メール本文やPDFのURLをすぐにクリックしない
- ・ショートカットファイルは絶対に開かない
- ・Zipファイルが添付されている場合は、安易に展開して開かない
- ・取引先と思われるメールであっても、上記のような不自然な点があれば取引先に確認する

編集担当:島

からすのパンやさん ~加古 里子(かこ さとし)~

先月号に引き続き、絵本作家の加古 里子さんについてご紹介します。今回はだるまちゃんシリーズの原点である「だるまちゃんとてんぐちゃん」について掲載しましたが、今回はもう一つの人気シリーズである「からすの〇〇やさん」の一作目「からすのパンやさん」についてご紹介します。

いずみもりは、千本以上の木々が生い茂るカラスの町。木々の上にはカラスの家があり、その一つにカラスのパン屋がありました。そのパン屋の家に四羽の赤ちゃんが生まれます。ですが、赤ちゃんの体は黒色ではなく、白、黄、赤、茶、それぞれ違った色をしていました。順番にオモチちゃん、レモンちゃん、リンゴちゃん、チョコちゃん、体の色に合わせた名前を付けました。カラスの夫婦は、四羽の赤ちゃんを育てながらパン屋を切り盛り。仕事と育児の両立はとても大変でした。パンを一生懸命に焼きますが、赤ちゃんが泣き出すたびに手を止めなければならず、あやしたり、抱っこしたりしていると、今度はパンが焦げたり、半焼けになってしまいます。店内を掃除しますが、赤ちゃんが泣き出すたびに手を止め、おむつを替えたりと、今度はお客さんを待たせ、掃除が疎かになってしまいました。仕事に集中できず、お客さんが減っていききました。そして、段々と貧乏になってしまいました。

一方、赤ちゃん達はすくすくと成長していき、カラスの夫婦が苦労しているとは露知らず、騒いだり、イタズラしたり、おねだりしたりと元気が溢れます。焦げたパンや半焼きのパンを作ってしまうと、そのパンは子ども達のおやつになりました。そして、子ども達があまり美味しそうに食べるので、カラスのパン屋の評判が広がっていきました。評判を聞きつけたカラス達は、競うようにカラスのパン屋へ向かいます。さらには、評判が評判を呼び、消防から警察官まで出動する大きな騒ぎに発展します。。。 結末は是非読んでみてください！

この作品は家族の絆が描かれ、子育てをしながらお店を営むのは本当に大変だけど、家族はいつも明るく、仲良し。困難な状況に陥っても、楽しく一生懸命なカラスの家族達を見てると応援したくなります。あとパンが美味しそうです。余談ですが、普段カラス自体に良いイメージがない故、道にいるカラスたちを見て不思議と、このカラス達にも色々な物語があるんだろうなあと感じてしまいました。また私自身幼少期の絵本についての記憶が全くないので凄く今後の参考にもなりました。

成長したそれぞれの子たちが主人公になった続編もあるのでそちらも読んでみたいと思います。

編集担当:横井

編集担当より

改正航空法が12月5日に施行されます。この改正により、ドローン等の無人航空機の機体認証制度、操縦ライセンス制度等が創設され、無人航空機の有人地帯における補助者なし目視外飛行(レベル4飛行)が可能となります。改正前では、有人地帯については目視外の自律飛行は許されていませんでした。

運行ルールの順守と国からの許可・承認、新たに制度化される機体の登録と操縦ライセンスの取得など条件はありますが、改正法では、人がいる場所でも操縦者が目で確認できない場所でも自律飛行が可能となります。宅配サービスや災害支援などを含めて、ドローンの活躍範囲がさらに拡大しそうです。

率直なご意見・ご感想をお待ちしております。
general@apollo-elec.co.jp

発行  アポロ電気株式会社

〒438-0004

静岡県磐田市匂坂中1600-11 磐田さぎさか工業団地

TEL:0538-38-2228 FAX:0538-38-2898

URL:http://www.apollo-elec.co.jp

編集担当: 管理室

発行日: 令和4年12月1日